

編集後記

本邦では90%近くの血液透析患者がAVFを使用しての透析を行っている。現在、透析患者の2/3は65歳以上となり、透析の原因疾患の40%強は糖尿病患者となっている。そのため動脈硬化進行や老化のためにAVFの成熟不良や血管拡張術が必要な症例が増えてきた。米国ではAVFを作成しても穿刺可能とならなかった症例が40～60%と多い。また、頻回にVAIVTを行わなければならない症例も増加して血液透析患者の入院理由の20%はVAによるものと報告されている(Roy-Chaudhury, P, et al.: Semin. Dial. 2015; 28: 107-113)。余命が短い高齢者にいかにトラブルが発生しないVAを提供するかが大きな問題と

なっている。今回はAVF, AVG, 動脈表在化, 血管留置カテーテルの適応および現状と問題点, また今ではAVFの管理や穿刺に欠かせなくなった超音波検査やVAIVTおよびステント留置について詳しく解説してもらった。また, VAの心機能に与える影響やケアについても述べてもらい, VAの合併症や感染症およびボタンホールや小児におけるVAについても執筆してもらった。

いずれも第一線で活躍中の専門家が執筆者であり, 力作ぞろいの論文である。本号がVAに苦勞している医師およびスタッフにとって有益な一冊であることを切に願う次第である。

(伊丹 儀友)

2020年(Vol. 36)特集のご案内

- | | |
|------------------------------------|-------------------------|
| No.① 透析患者の感覚器障害 | No.⑦ 透析患者 PAD の最前線 |
| No.② 透析液・透析関連排水の諸問題 | No.⑧ バスキュラーアセス |
| No.③ 腎代替療法と Shared Decision Making | —トラブルを少なくするために |
| No.④ 世間の荒波にもまれる CKD-MBD 治療 | No. 9 血液浄化機器 2020 [増刊号] |
| No.⑤ 近未来の透析医療 | No.10 透析患者の ADL と QOL |
| No.⑥ 透析患者の脳血管障害 | —その評価法と対策 |

(既刊は○)

臨牀透析® Vol.36 No.8

© 2020 年 8 月 10 日発行
定価: (本体 2,600 円 + 税)

年間予約購読は前金にて弊社あるいは書店宛お申し込み下さい。ただし、年間購読料は年度により異なりますので、弊社または書店までお問い合わせ下さい。

発行人 増 永 和 也
発行所 株式会社 日本メディカルセンター
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-64 神保町協和ビル
営業直通電話(03)3291-3901(代) FAX(03)3291-3904
編集直通電話(03)3291-3971(代) FAX(03)3291-3377
e-mail dialysis@nmckk.co.jp
URL <http://www.nmckk.jp>
郵便振替 00110-2-80695
印刷所 シナノ印刷株式会社

・ Published by Nihon Medical Center, Inc. ©2020, Printed in Japan

・ 本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)日本メディカルセンターが保有します。

・ JCOPY<出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌のコピーやスキャン等による無断複製は著作権法上での例外を除き、禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構(☎03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

■広告申込所/株式会社 文栄社 〒113-0033 東京都文京区本郷 3-26-1 電話(03)3814-8541